

明親 学校だより臨時号



平成 27 年 3 月 19 日
京都市立明親小学校
学校長 吉見 隆史
☎ 6 3 1 - 2 0 7 7

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=117807>

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育に、ご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度、第2回目の学校評価アンケートを行いましたところ、快くご協力いただき、ありがとうございました。この学校評価アンケートは、児童・保護者・学校の三者で行い、年間2回実施を企画しています。学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。

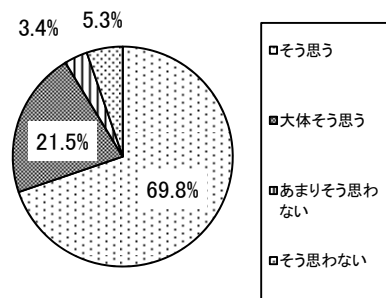
★生活について★

児童

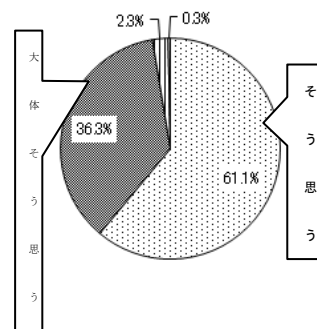
保護者

教職員

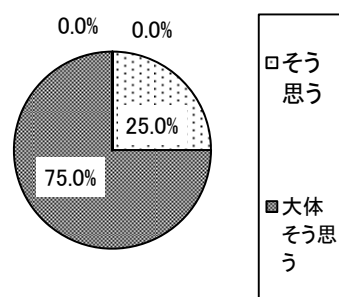
学校はたのしいですか。



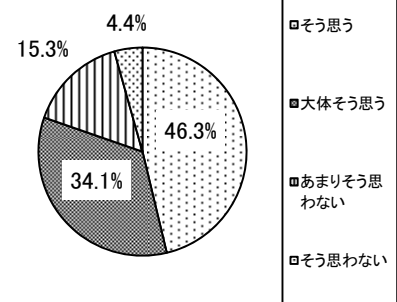
毎日楽しく学校に通っている。



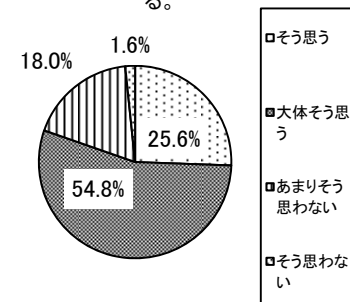
学校に楽しく通っている。



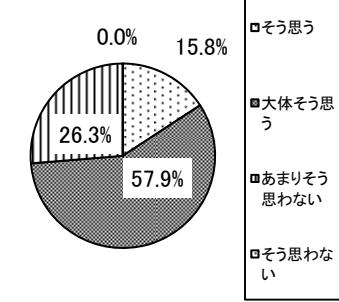
元気のよいあいさつができていますか。



家庭や地域で元気に挨拶ができる。

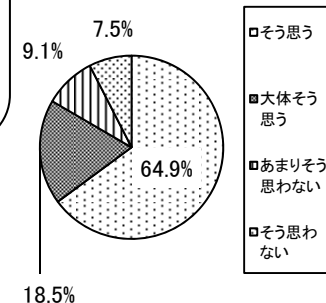


元気のよいあいさつができています。

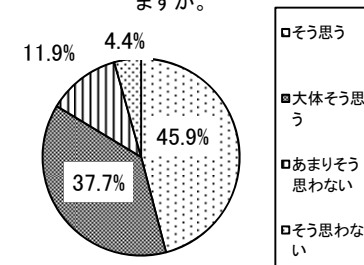


児童

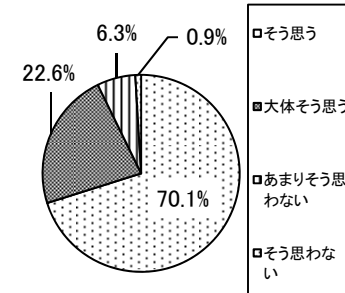
こまったら、そうだんできる人がいますか。



学校やクラスのきまりをまもれていますか。

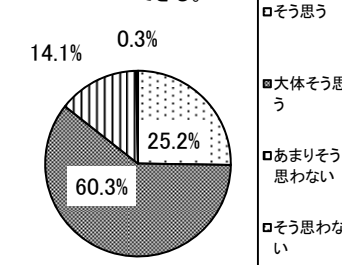


友だちをたいせつにしていますか。

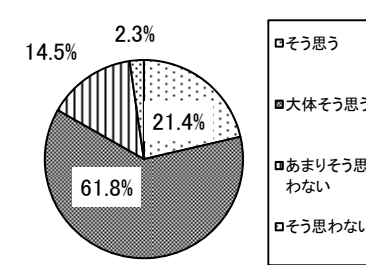


保護者

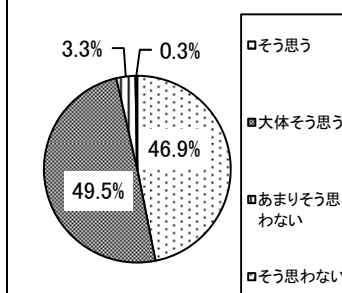
困ったことがあれば、誰かに相談できる。



家庭や地域できまりが守れている。

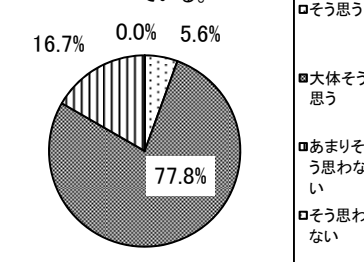


友だちとなかよくできている。

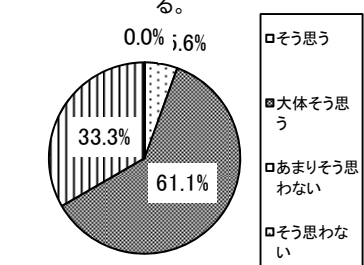


教職員

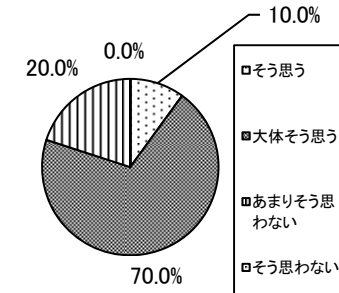
困ったことがあれば誰かに相談している。



学校やクラスのきまりを守れている。



友だちを大切にしている。



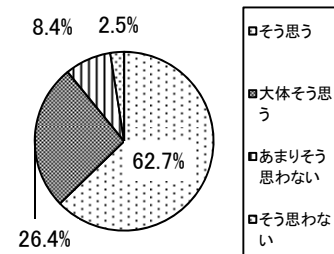
結果の考察と今後の課題

前期同様、ほとんどの児童が楽しく学校に通っていることは、たいへん喜ばしいことです。学校は、仲間と協力し合ったり、助け合ったりして楽しく学べる場であってほしいと願っています。しかし、些細な出来事が子どもにとっては、大きな負担となっていることがあります。「そう思わない」「あまりそう思わない」と答えた児童8.7%の結果を真摯に受け止め、一人一人を徹底的に大切に作る心構えで授業改革に臨みたいと考えます。

挨拶については、大きな声で挨拶できる子が増えてきています。質の良い挨拶へのレベルアップを明示したり、「あいさつキャンペーン」に取り組んだりして、積極的に働きかけができました。前期と比べ、教職員の評価は辛口となりました。9月1日に配布しました大淀学区「学びのルール」は、「家庭学習のてびき」と合わせて来年度も活用できるように発進していきたいと思ひます。

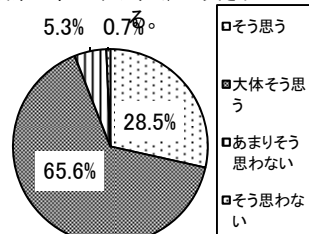
児童

じゅぎょうは、よくわかりますか。



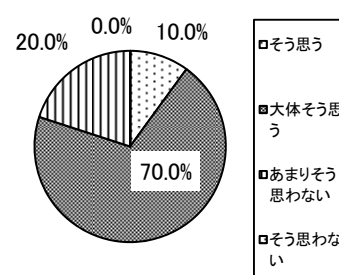
保護者

授業はわかりやすく、工夫されている。



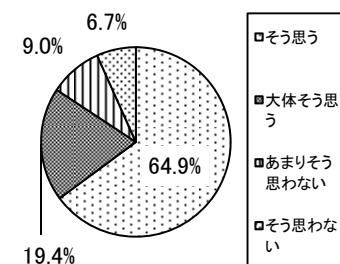
教職員

授業内容は、よく理解できている。



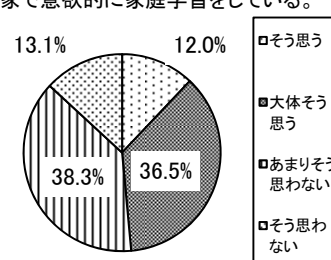
児童

いえで、べんきょうしていますか。



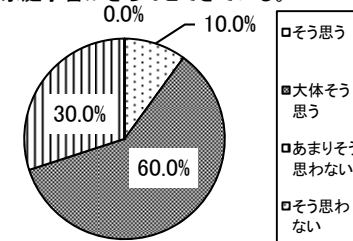
保護者

家で意欲的に家庭学習をしている。

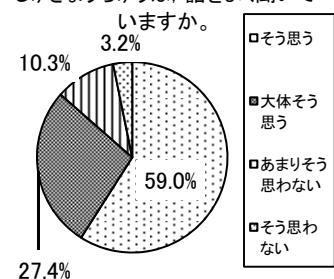


教職員

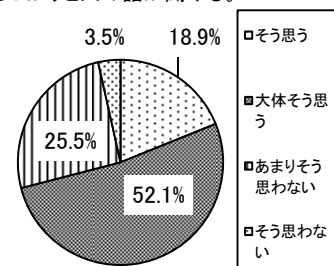
家庭学習がきちんとできている。



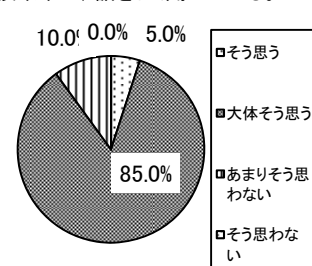
じゅぎょうちゅうは、話をよく聞いていますか。



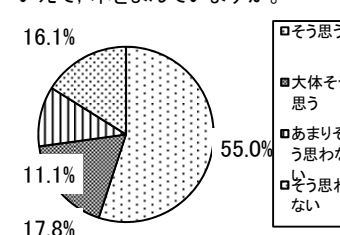
しっかりと人の話が聞ける。



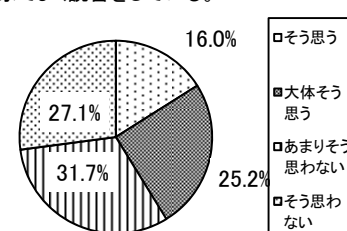
授業中は、話をよく聞いている。



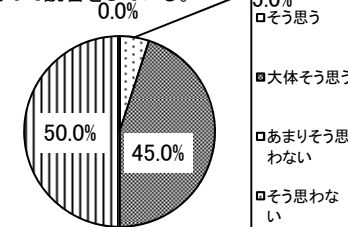
いえで、本をよんでいますか。



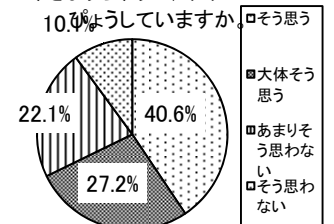
家でよく読書をしている。



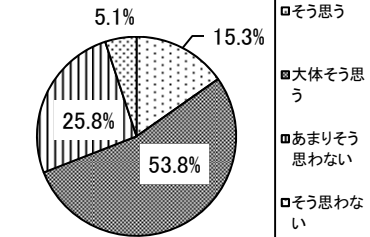
進んで読書をしている。



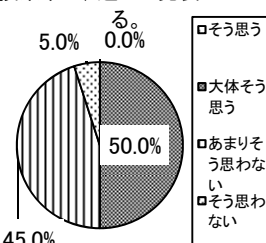
じゅぎょうちゅうは、すすんではつ



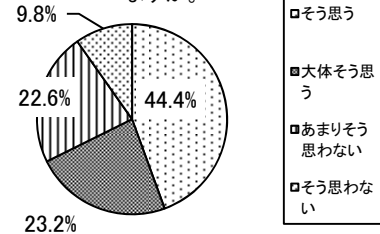
学校で自分の思いや考えが話せる。



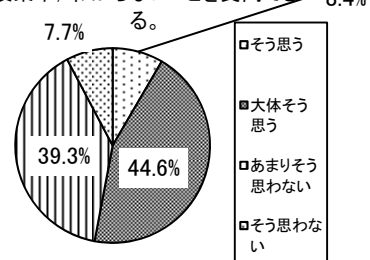
授業中は、進んで発表している。



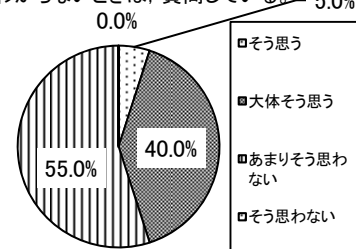
わからないときは、しつもんしていますか。



授業中、わからないことを質問できる。



わからないときは、質問している。



結果の考察と今後の課題

教師の「授業改善」に向かう姿勢の向上とともに、児童の主体的な学習の意欲が向上してきています。授業中進んで発表する割合が6.2%ではあるが伸びを見せており、教職員評価も高い結果となっています。苦手意識を持っていたコミュニケーション力が克服されている傾向にあります。今後は授業中の発問をさらに精選し、いろいろな形態での話し合い活動を体験させていきたいです。

学校図書館支援員との連携を図り、昨年度に続き図書室の整備を継続してきました。多くの新しい図書も増えました。その結果、「進んで読書をしている」の教職員評価は特に高く、学校での読書の取組が成果を上げています。今後も、児童の読書環境を整え、支援員がゲストティーチャーとして学習に参加する時間を計画していきます。よりよい利用の仕方や掲示物の工夫もしていきたいです。

さらに、家庭学習での読書の進めや、家庭での学習の具体的な取り組み方について伝えていこうと考えています。

ご多忙の中、学校評価へのご協力をありがとうございました。

学校評価の内容を踏まえ、今後の学校運営に生かして生きたいと思います。

今後とも本校教育にご理解ご支援いただきますよう、お願いいたします。